

研究委員会 委員の公募について

委員会名称：積雪寒冷地における土構造物の設計と施工に関する研究委員会

活動期間：令和5年5月～令和8年3月（3ヶ年）

設立趣意：

北海道のような積雪寒冷地の土構造物の設計においては、降雨や地震動の作用の他、積雪や地盤の凍上・凍結融解への配慮が必要である。しかしながら、現設計では、それらの配慮が舗装と補強土壁および法枠などに限定され、盛土や切土などの土構造物においては、積雪寒冷地に対しての設計法や照査法が確立されていない。また、冬期施工は極力回避すべきであるが、時期の制約や災害復旧等により避けられない場合がある。そのため、施工現場では、外気温の急低下や雪の混入など厳しい環境条件下に対して様々な工夫がされているが、その体系的な対策法までは確立されていない。このような現状の中、対策を講じているはずの舗装や補強土壁および法枠においても凍上や凍結融解が原因と考えられる変状が発生し続けている。加えて、融雪期に発生する盛土や切土のり面の崩壊、特殊フトン管の変状および冬期土工に起因した道路盛土や河川堤防の変状なども顕在化しつつある。

一方、近年における積雪寒冷地特有の問題として、融雪期の気温上昇や積雪上の大雨（いわゆるレイン・オン・スノー）により、発生する多量の融雪水が挙げられる。地球温暖化の影響により将来的には降雪量全体の減少が予想される反面、気候バランスが崩れることで局所的な大雪がさらに増える恐れがあるとされ、融雪期には今まで以上の融雪水が流入するリスクが高まっている。このため、今後の土構造物の設計においては融雪水の大量流入に対する安全性の評価も重要と考える。

本委員会では、このような状況を踏まえ、最新の情報収集、データ分析を行いながら、積雪寒冷地における土構造物の諸問題について検討することを目的とする。

委員長：川口 貴之（北見工業大学）

幹事委員：松田 圭大（北海道科学大学）、菅原 正則（株式会社構研エンジニアリング）

委員の業務：設立趣意に従って調査・研究活動を行っていただきます。また、各委員には委員会での話題提供や委員会報告の取りまとめをお願いします。

委員会費用：旅費交通費等の支給はありません。

応募要領：原則、地盤工学会会員に限ります。

- (1) 氏名・ふりがな
- (2) 所属・役職
- (3) 生年月日
- (4) 連絡先住所・電話番号・FAX 番号・メールアドレス
- (5) 当委員会の活動に関連する論文（報告）または業務の概要
- (6) 当委員会で取り組みたい課題

5月26日（金）までにこちら（matsuda-k@hus.ac.jp）へメールをお送りください。

なお、委員の人数は委員会が円滑に運営され、委員相互で十分な意思疎通が図れる程度としております。そのため、応募者が多数の場合は、参加いただけない場合もあり得ることをご承知おきください。

※ 第1回の委員会は5月26日に開催されますので、お早めの応募をお願いいたします。